



獣医師にマイクロチップを装着される子猫 (2022年1月、東京都内で)

# 犬猫に「外れない名札」

## マイクロチップ 6月義務化

6月の改正動物愛護管理法の施行に伴い、ペットの犬や猫の販売前にマイクロチップを埋め込み、所有者の情報などを登録することが義務づけられる。飼い主の安易な飼育放棄を防いだり、迷子の犬猫を返還しやすくしたりするのが狙いだ。

■長さ1センチ  
チップは直径2ミリ、長さ1センチ程度の円筒形で、首の後ろ側などに注射器で注入する。15桁の個体識別番号が記録され、データベースに登録された飼い主の住まいや電話番号などの情報とひもつけられる。路上などで保護された場合は、飼い主に連絡がいく仕組みだ。チップ装着を推進してきた日本獣医師会によ

ると、装着には太めの針の注射器を使うが、痛みは普通の注射と同程度で、副作用の報告もほぼないという。

■殺処分2万匹超  
チップ装着の義務化が進めば、殺処分数も減らすことができる。環境省によると、2020年度に全国の動物愛護センターや保健所に引き取られた犬猫は約7万2400匹。このうち飼い主への返還や、新たな飼い主への譲渡が行われず、殺処分されたのは約2万3700匹に上る。年間約2000匹を引き取る千葉県動物愛護センターは「保護する犬猫のうち民間のチップを装着しているのは数%にとどまり、返還につながる例は少ない。義務化で返還

率が上がり、飼育放棄の抑止にもなるのではないかと期待する。

■期待と不安  
飼い主側の反応は様々だ。

日本トレンドリサーチ(東京)が昨年12月〜今年1月にネット上で行ったアンケートでは、チップ未装着の犬猫の飼い主340人のうち「装着させたくない」と答えた人が56%に上った。「装着させたい」は18%にとどまり、「悩んでいる」は27%だった。装着させたくない理由では「かわいそう」「生き物にチップを埋め込むのは倫理に反する」などが目立った。

専門家は、「大規模災害では飼い主とはぐれるペットも多く、チップの装着が効果を発揮すると見込まれる。装着時の痛みや安全性については国がデータを交えて積極的に発信し、飼い主の不安を払拭する必要がある。将来的にはチップの小型化にも期待したい」と指摘する。

(2022年4月18日 読売新聞夕刊より)

1 マイクロチップが「外れない名札」として有効なのは、マイクロチップ・データベースそれぞれに何が記録されているからですか。□にあてはまる言葉を記事の中からそれぞれ指定された字数で抜き出しましょう。



2 マイクロチップの装着を義務づける目的はいくつかあります。次のうちふさわしくないものを全て選び、番号を書きましょう。

- ① 犬猫が殺処分されるのを減らすこと。
- ② 犬猫の健康状態を記録すること。
- ③ 飼い主が犬猫を捨てるのを防ぐこと。
- ④ 犬猫の飼育頭数や種類を調査・追跡すること。
- ⑤ 災害時でも犬猫が飼い主の元に戻りやすくすること。

3 記者が日本トレンドリサーチ(東京)の調査結果を紹介したのはどのような狙いからですか。最も適切なものを選び、番号で答えましょう。

- ① 装着には否定的な考えの飼い主が多く、今後この取り組みが広まらないことを暗示するため。
- ② 装着が犬猫の負担にならないという点を、日本獣医師会がきちんと説明していないことを非難するため
- ③ 装着したいと考える人は意外に多く、義務化の遅れが不要な殺処分を招いたと批判するため。
- ④ 装着に不安を感じる人が多いことを示し、今後正しい情報発信が必要なことを強調するため。



獣医師にマイクロチップを装着される子猫（2022年1月、東京都内で）

# 犬猫に「外れない名札」

## マイクロチップ 6月義務化

6月の改正動物愛護管理法の施行に伴い、ペットの犬や猫の販売前にマイクロチップを埋め込み、所有者の情報などを登録することが義務づけられる。飼い主の安易な飼育放棄を防いだり、迷子の犬猫を返還しやすくしたりするのが狙いだ。

■長さ1センチ、チップは直径2ミリ、長さ1センチ程度の円筒形で、首の後ろ側などに注射器で注入する。15桁の個体識別番号が記録され、データベースに登録された飼い主の住まいや電話番号などの情報とひもづけられる。路上などで保護された場合は、飼い主に連絡がいく仕組みだ。チップ装着を推進してきた日本獣医師会によ

ると、装着にはための針の注射器を使うが、痛みは普通の注射と同程度で、副作用の報告もほぼないという。

■殺処分2万匹超 チップ装着の義務化が進めば、殺処分数も減らすことができる。環境省によると、2020年度に全国の動物愛護センターや保健所に引き取られた犬猫は約7万2400匹。このうち飼い主への返還や、新たな飼い主への譲渡が行われず、殺処分されたのは約2万3700匹に上る。年間約2000匹を引き取る千葉県動物愛護センターは「保護する大猫のうち民間のチップを装着しているのは数%にとどまり、返還につながる例は少ない。義務化で返還

率が上がり、飼育放棄の抑止にもなるのではないかと期待する。

■期待と不安 飼い主側の反応は様々だ。日本トレンドリサーチ（東京）が昨年12月〜今年1月にネット上で行ったアンケートでは、チップ未装着の犬猫の飼い主340人のうち「装着させたくない」と答えた人が56%に上った。「装着させたい」は18%にとどまり、「悩んでいる」は27%だった。装着させたくない理由では「かわいそう」「生き物にチップを埋め込むのは倫理に反する」などが目立った。

率上がり、飼育放棄の抑止にもなるのではないかと期待する。

1 マイクロチップが「外れない名札」として有効なのは、マイクロチップ・データベースそれぞれに何が記録されているからですか。□にあてはまる言葉を記事の中からそれぞれ指定された字数で抜き出しましょう。



注射器で注入してあり、飼い主に連絡がいくから、「外れない名札」なのです。「ひもづける」は「結びつける」と同じ意味だと気づきましたか。

義務化の狙いは、飼育放棄を防ぐ、迷子の犬猫を返還しやすくする、殺処分数を減らす、の三つですね。犬猫を捨てるのは、まさに飼育放棄です。

2 マイクロチップの装着を義務づける目的はいくつかあります。次のうちふさわしくないものを全て選び、番号を書きましょう。

- ② ④

- ① 犬猫が殺処分されるのを減らすこと。
- ② 犬猫の健康状態を記録すること。
- ③ 飼い主が犬猫を捨てるのを防ぐこと。
- ④ 犬猫の飼育頭数や種類を調査・追跡すること。
- ⑤ 災害時でも犬猫が飼い主の元に戻りやすくすること。

3 記者が日本トレンドリサーチ（東京）の調査結果を紹介したのはどのような狙いからですか。最も適切なものを選び、番号で答えましょう。

- ① 装着には否定的な考えの飼い主が多く、今後この取り組みが広まらないことを暗示するため。
- ② 装着が犬猫の負担にならないという点を、日本獣医師会がきちんと説明していないことを非難するため
- ③ 装着したいと考える人は意外に多く、義務化の遅れが不要な殺処分を招いたと批判するため。
- ④ 装着に不安を感じる人が多いことを示し、今後正しい情報発信が必要なことを強調するため。

4



調査結果は、「装着させたくない」という飼い主が多いことを示しています。直後の専門家のコメントに、痛みや安全性について積極的に発信し、不安を払拭する必要があると書かれており、紹介した狙いがわかります。

読んでみよう！

◆ミー太郎のおすすめ記事

# ペット業者 劣悪飼育を規制

## 社会

犬や猫を狭いケージに押し込めて育てるペット業者に改善を促す規制が今月から導入された。ケージの広さや頭数について明確な数値基準を示すことで、自治体が悪質業者を取り締まりやすくする狙いもある。

時事  
の  
ツボ



- ペット業者への新たな規制がスタート
- 飼育頭数やケージの広さに数値基準を設定
- 悪質業者を取り締まりやすくなる期待も

## ■ 頭数、広さなど

世話もせず段ボールの中に放置、立ち上がれないケージに閉じ込める——。こんな劣悪な環境で犬や猫を飼う悪質業者の存在は、ペット業界で長年問題となっていた。

ペット業者は自治体に登録する必要がある。そのため、自治体は業者にさまざまな指導や業務停止といった処分を下すことができる。だが、これまでは飼育の「基準」があいまいだったため、自治体は業者への指導や処分に及び腰だった。

そこで新基準は、右の図のように飼育頭数やケージの広さ、繁殖の

### ペット業者に対する主な飼育基準

	旧	新
従業員1人あたりの上限飼育頭数	明確な数値基準なし	【フリーターなど】 犬15匹、猫25匹 【ペットショップなど】 犬20匹、猫30匹
ケージの広さ	明確な数値基準なし	【犬】縦(体長の2倍)×横(体長の1.5倍)×高さ(体高の2倍) 【猫】縦(体長の2倍)×横(体長の1.5倍)×高さ(体高の3倍)
繁殖年齢		6歳まで



新規業者は6月1日から、既存業者は来年6月から順次スタート

→ 来年6月スタート

年齢上限を数字で示した。ペットの状態についても「毛に排せつ物が固まってついている」「体が毛玉で覆われている」「爪が異常に伸びている」など、自治体がチェックしやすい項目を並べた。

業者側はケージなどの準備に時間

がかかるため、いくつかの基準は段階的に適用していく。

例えば、飼育頭数は、すでに営業しているペット業者への規制を来年6月にスタートする。徐々に頭数の上限を厳しくし、2024年6月には新規のペット業者と同じ水準になる。

(2021年6月11日 読売中高生新聞より)

ペットとなる動物を守るために、様々なルールができています。

どのような立場の人も、動物を大切に扱うことが求められています。

